

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

〇2月2日～

先週は米国でFOMCがありましたが大きなサプライズはなく、金利は据え置きとなりました。

パウエル・FRB議長が退任する5月までは、よほどのことがない限り、金利据え置きになるという見方が強くなっています。

雇用が比較的強いことが確認されたことや政策金利の水準が中立金利に近づいてきていることもあり、早急に利下げする必要はなさそうです。

そして、新しいFRB議長にケビン・ウォーシュ氏を指名するとトランプ政権が発表しました。

彼は2006年～2011年までFRBの理事だった経験があります。ちょうど2008年のリーマンショックの時にウォール街の担当窓口で金融危機の対応をしたこともあるようです。

利下げを主張しているようですが過去にはバーナンキ議長の金融緩和に反対したこともあり、どのようなかじ取りを行うのか未知数の部分もあります。

米国のデータを見るとインフレが再燃するリスクも出てきているため、利下げや金融緩和に対しては慎重になってくるかもしれません。

心配なのは、マーケットが不安定な動きになってきているように見えることです。

金や銀などが急騰したり、急落したりで日本のプラチナ先物でサーキットブレーカー（市場が急激に変動した際、一時的に取引を制限・中断する措置）が発動するなど貴金属市場の動きが心配です。

金は10%超、銀は30%超の下落となるなど荒い動きとなっています。

また、日本の長期債の利回りが急上昇していることで、金融機関が保有する長期債の含み損の問題も再び問題になってきそうです。

日本の長期金利が上昇して、日本国債が下落すると米国債も連動して下落するという動きも見られ、米国も日本の債券市場については為替市場以上に気にかけているように見えます。

このところ米国の方が為替のレートチェックをしたり、日本を為替操作国から除外するなど神経質な動きをしているように見えます。先週発表された11月の米国の貿易収支が想定外に悪かったことで、貿易やAIへの過剰投資に対する先行き不透明感も出ています。年初から堅調だった株式市場の動きも気になります。

そして、イランへの攻撃が近いのではないかという話もあり、貴金属市場が乱高下しているのは地政学リスクの影響もあるようです。

さらに、米政府機関の一部が31日に閉鎖され、米国から目が離せない状況が続きます。

為替相場も先週はドル/円が152円まで下落するなど値幅が大きくなってきているためリスク管理を徹底したいです。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

<ドル/円>

先週は週の前半は大きく下げましたが 152 円あたりで底をつけ、反転上昇してきました。

154 円台後半まで戻してマーケットは終わっています。

155.3 円を超えてくると円高リスクは落ち着いてきそうですが 1 月は月足でも陰線で終わっているため流れに変化が出てくるかもしれません。

上値は 155.3 円を超えると 156 円台後半あたりまでは上昇する可能性があります。

157 円あたりで上値が重くなってきた場合は反落に注意したいです。

下値は 154 円を割り込むと、再度 152 円台まで下落してくるリスクがありそうです。

<気になるクロス円>

クロス円も下げ止まって上昇してきていますが勢いが弱いと再度下落する可能性があります。

ユーロは先週 182-184 円程度のレンジを動いているためどちらにブレイクするかに注目したいです。

オセアニア通貨(豪ドル、NZドル)は週足でも陽線が続いているため上昇トレンド継続と判断したいです。オーストラリアは今週利上げの可能性もあり、豪ドルには追い風となっています。

南アフリカのランドは週足で陰線となっているため安値更新の動きには注意したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称:〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル?>

日本では特に指標発表はありません。

米国では、1月製造業PMI(改定値)、1月ISM製造業景況指数、12月雇用動態調査(JOLTS)求人数、1月ADP雇用統計、1月サービス部門・総合PMI(改定値)、1月ISM非製造業景況指数、前週分新規失業保険申請件数、1月雇用統計、2月ミシガン大学消費者信頼感指数などの発表があります。

欧州では、ドイツとユーロ圏で1月製造業・サービス業PMI(改定値)、12月小売売上高、ドイツで12月製造業新規受注、12月鉱工業生産、ユーロ圏で1月消費者物価指数、12月卸売物価指数、ECB(欧州中央銀行)政策金利発表、ラガルド・ECB総裁定例会見などがあります。

ほかには、オーストラリアと英国で政策金利、英国で英中銀金融政策委員会(MPC)議事要旨の発表などがあります。